

◆◆◆◆◆ 2018年6月23日(土) 午前の部 ◆◆◆◆◆

≪講演1≫

「ウェクスラー知能検査の改訂新版 WPPSI-Ⅲ, WAIS-Ⅳ」

【日時】2018年6月23日(土) 10:30~12:00 (90分) 【会場】橘

【講師】大六一志 (NPO 法人 LD・Dyslexia センター)

【講演要旨】

幼児用知能検査 WPPSI の日本版が 48 年ぶりに改訂され、昨年末に WPPSI-Ⅲが刊行された。また、成人用知能検査 WAIS の日本版が 12 年ぶりに改訂され、今夏に WAIS-Ⅳが刊行される。これにより、すでに 2010 年に刊行されていた WISC-Ⅳとともに、CHC 理論に準拠したウェクスラー知能検査のシリーズが出そろったことになった。WAIS-Ⅳと WISC-Ⅳでは検査の因子構造はほぼ同じであり、結晶性能力(Gc)、流動性推理(Gf)、視覚処理(Gv)、短期記憶(Gsm)、処理速度(Gs)といった領域の能力を測定している。WPPSI-Ⅲについては短期記憶(Gsm)が用意されておらず、一方、理解語彙と表出語彙を測定する検査が用意されている。本講演では、これら新しい検査について改訂のポイントを紹介する。

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆ 2018年6月23日(土) 午前の部 ◆◆◆◆◆

≪講演2≫

「算数障害のある児童生徒への学習支援」

【日時】2018年6月23日(土) 10:30~12:00 (90分) 【会場】白樺1

【講師】下村 治 (横浜市立洋光台第一中学校)

【講演要旨】

算数障害は医学的基準に従って診断される場合と、文部科学省の定義に従って判断する場合が混在しています。結果として、現場ではどのように支援すべきか戸惑っている様子が少なからず見てとれます。

しかし、実際に児童生徒を目の前にした時、教師として発揮すべき専門性とは何かを意識することが大切だと考えています。表面上、問題が解けてテストの点数が上がったというのでは、本来の算数・数学教育の目的を実現できていないとは言えません。算数・数学の学習を通して社会的に活用できるスキルを身に付けさせるのは、教育の専門家だからこそです。

私が教師としての専門的な支援の在り方に言及することで、それぞれの立場の目的を見直し、よりよい支援のネットワークが構築できたらよいと思います。

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆ 2018年6月23日(土) 午前の部 ◆◆◆◆◆

≪講演3≫

「幼稚園・保育所における発達支援」

【日時】2018年6月23日(土) 10:30~12:00 (90分) 【会場】白樺2

【講師】小林 玄(立教女学院短期大学幼児教育科)

【講演要旨】

2007年度に開始された特別支援教育は、通常の保育や教育の場においても子供たち一人一人の特性に目を向け、その教育的ニーズに応える必要があることを世間に広く知らしめたといえる。しかし、文部科学省の「平成29年度特別支援教育体制整備状況調査 結果について」によると、開始後10年以上経過した現在においても、義務教育年限と比較して就学前の支援体制は行き渡っているとは言い難い。保幼小の連携の強化や多様な子供たちへのインクルーシブ教育が求められている現在、発達に偏りを持つ乳幼児期の子供たちを、集団の中でどのように理解し周りの子供たちと共に育てていくか、また、小学校への滑らかな移行を果たすためにどのように他機関と連携をとればよいか考えていきたい。

◆◆◆◆◆

◆◆◆◆◆ 2018年6月23日(土) 午前の部 ◆◆◆◆◆

≪講演4≫

「高等学校における指導・支援で留意すべきこと-高等学校における通級による指導を活かすために-」

【日時】2018年6月23日(土) 10:30~12:00 (90分) 【会場】第8会議室

【講師】笹森 洋樹(独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所)

【講演要旨】

平成30年度より高等学校においても通級による指導が制度化された。これまでは、課程や学科、学校設定科目等の制度の多様化で対応してきたが、今回の制度化により、高等学校においても障害のある生徒への指導・支援を行うことが明確化されたことになる。

しかし、「高等学校における通級による指導の制度化及び充実方策について(報告)」(平成28年3月31日)に示されているように、通級による指導は、障害のある生徒を特別な場へ追いやるものであってはならない。小・中学校と同様に、通常の学級との連携が不可欠であり、通級による指導が通常の学級における教育に活かされるためには、教職員の共通理解の下、学校全体の取組の充実が必要になり、それは今後の高等学校教育の在り方にも関与する。

国立特別支援教育総合研究所が実施した研究の成果も含め、通級による指導がうまく機能するために留意すべきことを述べてみたい。

◆◆◆◆◆